

マツモトこすめーる

Vol.105

刺激緩和有効成分

Cytokalmine

(シトカルミン)

ザクロ乾燥エキス配合

Cytokalmine®はザクロの乾燥エキスで、敏感肌タイプにおいて誘発されやすい炎症性サイトカインの産生やフリーラジカルの過剰生成を減少させます。

ザクロには、ポリフェノール、特にタンニン(パニカラギン)とエラグ酸誘導体が豊富に含まれており、Cytokalmine®は種々のポリフェノールの相乗効果により炎症性サイトカインを効果的に阻害します。

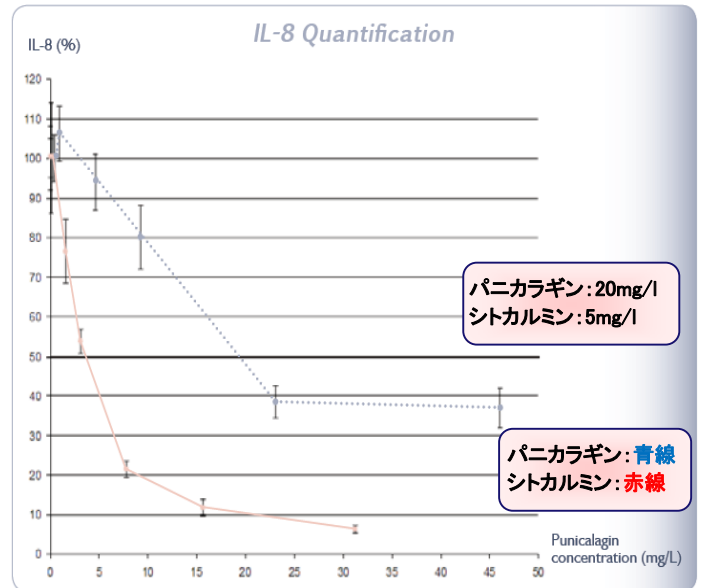
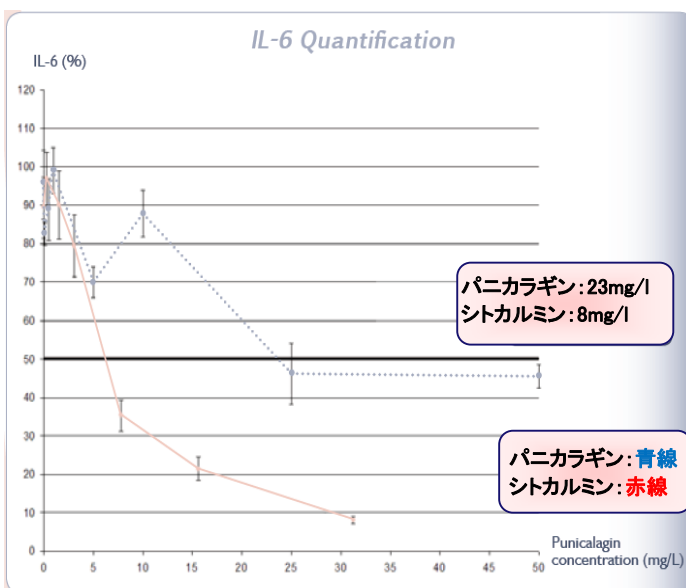
I. 炎症反応に限定した刺激緩和作用試験

* *In vitro* 試験: サイトカイン産生阻害

試験細胞: 事前に炎症性サイトカイン物質で処置された Caco-2 細胞(ヒトの腸上皮のモデル細胞)を使用。

評価物質: Cytokalmine®(7%のパニカラギンを含む天然エキス)と、ザクロに含まれるポリフェノール(パニカラギン)を使用し、添加量を増やしながら培養。

* ELISA(サンドイッチ法)により、炎症性サイトカイン IL-6、IL-8 の産生阻害作用を評価。

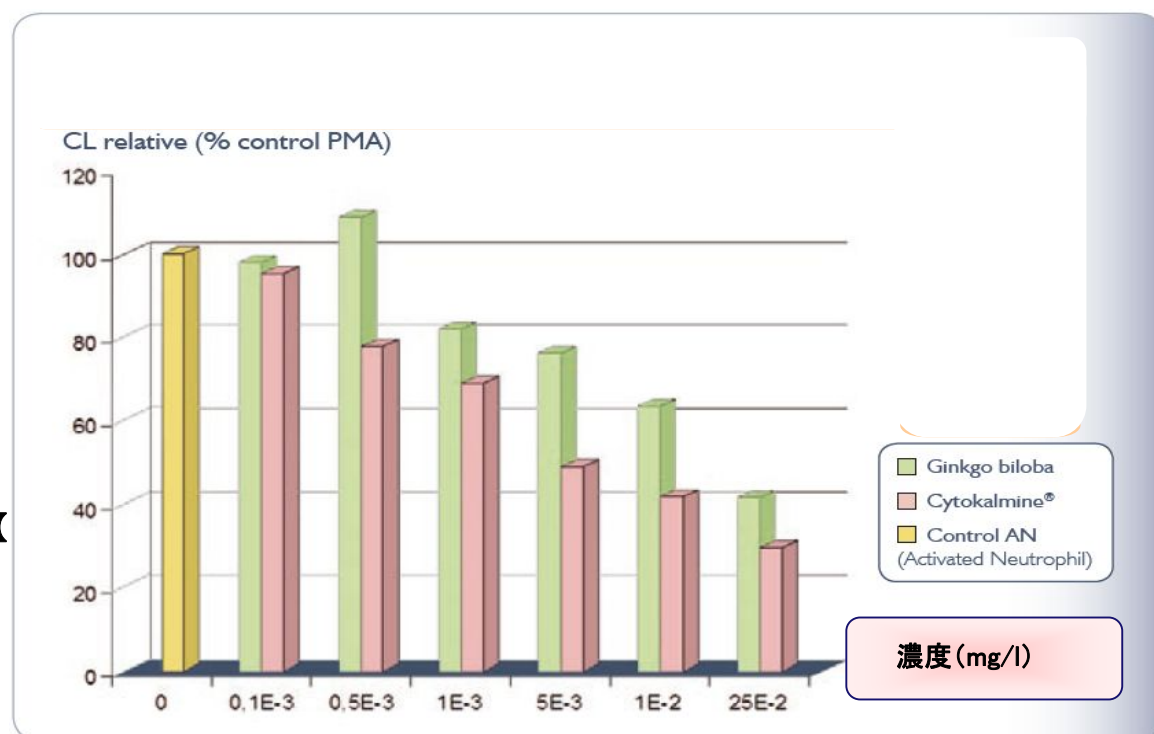


Cytokalmine®は対象のパニカラギンと比べて炎症性サイトカインの生成を効果的に阻害している結果となっています。Cytokalmine®に含まれる種々のポリフェノールの相乗効果がパニカラギン単体の作用より効果があることがわかりました。

II. 抗酸化作用により高まる抗炎症効果試験

* *In vitro* 試験: サイトカイン産生阻害

試験細胞: ヒト血液サンプルから抽出された免疫システム細胞である好中球を使用。好中球は PMA (酢酸ミリスチン酸ホルボール) により活性化し、フリーラジカルもしくは ROS (活性酸素) を生成させます。
比較物質: イチョウ葉エキス (フラボン配糖体 24%、ギンコライドとピロバライド 6%) を使用。



Cytokalmine®はイチョウ葉エキスより効果的に ROS (活性酸素) の生成を減少させました。Cytokalmine®に含まれるポリフェノールが強い抗酸化作用を示しています。

商品名: CYTOCALMINE (シトカルミン)

表示名称: マルチトール、ザクロ果皮エキス * 防腐剤フリー

製造元: Alban Muller International (仏)



株式会社 **マツモト交商**

東京本社: 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-4-20

TEL 03-3241-5161 / FAX 03-3241-5169

大阪支店: 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5 (毎日新聞ビル 3F)

TEL 06-6342-1185 / FAX 06-6342-1199

E-mail: yakusho@matsumoto-trd.co.jp

<http://www.matsumoto-trd.co.jp/>